

活動状況報告書（12 月分）

文化芸術コース 森野 杏里紗

ほっかいどう未来チャレンジ基金第8期生の森野杏里紗です。

今月はクリスマスおよび年末を迎え、イベント当日や年末には街の多くの店が閉まり、それぞれ家族や友人とゆっくりと過ごし、街全体は落ち着いた雰囲気となっていました。まだ雪が積もることはありませんでしたが、気温が低く、白い息や凍った落ち葉などから、冬を感じることができました。

クラスの活動では、今期初めてのクラスの演奏会がありました。本番前のホールでのおさらい会や前日のリハーサルを通して課題を見つけ、本番直前までその改善に取り組みました。他にも課題は残りましたが、直前まで取り組んできた課題については解決することができました。来月も同様の演奏機会が予定されているため、今回の経験を踏まえ、さらに演奏の完成度を高めていきたいと思っています。

また、学外にある大きなホールでのおさらい会も行われました。一人ずつ演奏を終えるごとに教授から丁寧なアドバイスがあり、自分の演奏する時間以外は他の学生の演奏を聴きながら、今後に生かすため適宜楽譜にメモを取りました。同じ曲を複数回聴くこともありましたが、全体の解釈は共通していても細かなニュアンスには個人差があり、大変勉強になりました。

特殊管の授業では、バスクラリネットのおさらい会もありました。先月課題としていた体力面については、日々の練習を通して少しずつ改善されてきていますが、音程の細かなコントロールや運指の使い分けなどが、今後の課題として新たに挙がりました。課題には、比較的短期間で改善できるものから、技術の習得に時間を要するものまで様々あり、課題に応じた練習を意識して継続的に取り組んでいきたいと考えています。

さらに、今月は室内楽の合わせも行いました。オーボエ、ピアノとのトリオ編成で、レッスンに向けてアンサンブルの調整や楽曲の解釈についてすり合わせを行いました。来月は、ホルン専攻の学生の卒業試験において、ホルンとピアノとのトリオで演奏に参加する予定です。室内楽をコンサートで演奏するのは今期初めてとなるため、今から楽しみにしています。

鑑賞活動では、ピアノ専攻の学生による卒業試験と、私が現在師事している教授と別のクラリネットクラスの演奏会を聴きに行きました。卒業試験では、高い演奏技術はもちろん、コンサートでの立ち居振る舞いや、聴衆を引き込む表現力にも触れ、大きな刺激を受けました。もう一方のクラスの演奏会は、アットホームな雰囲気の中で行われており、学内コンサートならではの良さを感じることができました。

今学期も折り返しとなり、予定されていたホールでのおさらい会はすべて終了しました。来月に予定されている演奏会や通常のおさらい会一つ一つを大切にしながら、引き続き日々の練習に真摯に取り組んでいきたいと思っています。



↑ 街の様子



↑ クラスの演奏会



↑ 学外のホール